

37同会会員 各位

4/6(土)37 同会関東支部観桜会の御案内

37同会会員の皆さん、お変わりありませんか？この度、**関東支部観桜会**を計画しましたので、下関などの皆さんを含め、是非多数御参加下さい。コースはJR駒込駅～六義園(りくぎえん)～JR駒込駅～JR巣鴨駅～中華料理店「**泰平飯店**」で会食～**巣鴨地藏通り商店街**(おばあちゃんの原宿)散策(庚申塚往復)です(下図参照)。以下、2月17日(日)に実施した事前偵察を踏まえての御案内です。



1 花見会

JR「駒込駅」又は地下鉄南北線「駒込駅」(写真下左)で降りていただき、JR駒込駅南口のキオスク(写真下右)前に、11:00までに集合して下さい。約15分歩き、**六義園**(次頁図)で約1時間花見を行います。花見後は再びJR「駒込駅」に戻り、山手線でJR「巣鴨駅」に移動します。



下図が六義園です。2月17日(日)に不祥村川がベテランガイドのFさんから受けたばかりの説明内容を知ったかぶりで、たっぷりレクチャーします。下図の赤い経路は2月17日現在の通行止め区域ですが、当日は通行できる予定です。入場料は65歳以上150円です。

和歌の庭
六義園は五代将軍・徳川綱吉の信任が厚かった川越藩主・柳沢吉保が元禄15(1702)年に築園した和歌の趣味を基調とする「回遊式築山泉水」の大名庭園です。当園は池をめぐる園路をあるきながら移り変わる景色を楽しむ繊細で温かな日本庭園です。
江戸時代の大名庭園の中でも代表的なもので、明治時代に入って、三菱の創業者である岩崎彌太郎の別荘となりました。その後、昭和13(1938)年に岩崎家より東京市(都)に寄付され、昭和28(1953)年に国の特別名勝に指定された貴重な文化財です。

園名の由来
六義園の名は、中国の詩の分類法(詩の六義)にならった古今集の序にある和歌の分類の六体(そえ歌、かぞえ歌、なぞらえ歌、たとえ歌、たごひの歌)に由来したものです。柳沢吉保自身の撰した「六義園記」では、日本風に「むさしの」と呼んでいましたが、現在では漢音読みで「六義」を「ろくぎ」と読む習わしから、「ろくぎん」と読みます。

藤代峠
園内が一番高い築山で、標高は35m。ただいま「富士見山」と呼ばれ、そこからは素晴らしい展望が開けています。紀州(現在の和歌山)にある同名の峠から名付けられました。

蜘蛛
古くはクモを「露」と呼び、この小池がクモの糸のように細いことから名付けられました。

渡月橋
「和歌のうら 夏辺の田舎の 唯くまに 夜わたる月の 影ぞさびしき」の歌から名付けられた石の橋。2枚の大岩の重量感が、あたりの掌園気を引き締めています。

妹山・青山
中の島にある築山。古くは女性のことを妹、男性のことを背と呼び、この中の島は男女の情柄を表現しています。イザナギ、イザナミの故事にちなむ「せきれい石」もあります。
※中の島には通常入ることができません。

出汐湊
大泉水の池畔の名のひとつ。眺望に恵まれ、右手に中の島、左手に蓬莱島、対岸に吹上浜が見えます。

内庭大門
庭園の中心に入るための門で、広場にはシダレザクラの木が植えられています。

つづじ茶屋
明治年間、つづじの古木材を用いて建てられたものです。戦災をまぬがれ、現代にその希少な姿を伝えています。モミジの紅葉が見事です。

滝見茶屋
あずまやの横を流流が走り、岩の間から落ちて水しぶきをあげています。あずまやは、滝や石組(水分石/みずわけし)などの景観や水音が楽しめます。

石柱
庭内の88ヶ所の景勝地(六義園八十八境)には、それぞれに石柱が建てられていましたが、現在では32ヶ所のみが残っています。

蓬莱島
神仙思想を主題とした石柱の一種で、典型的な洞窟石組(アーチ形)の島です。

庭園ガイド
ボランティアガイドと一緒に園内を散策しながら、六義園の見どころ、日本庭園の話、歴史の話、和歌の話などを聞いてみませんか。
※土曜11時、祝祭日の午前11時と午後2時の2回、所要時間約60分(無料)

2 会食

(1) 場所

「**泰平(たいへい)飯店**」(豊島区巢鴨2-1-2 太平味のビル4F 電話:03-3910-7144)



(2) 会費

女性 5,000円(山口県の豪華なお土産付)、男性 6,000円(お釣りのないようにお願いします)。

(3) 時刻: 13:00 ~ 15:00

(4) お店への移動

花見会参加者は、そのまま会場に向かいます。直接お店に向かわれる方は、前頁の案内図を御覧ください。

(5) メニュー

泰平式サラダ、海老チリソース、松笠イカ・青菜塩味炒め、春巻き、焼売、四川風麻婆豆腐、若鶏唐揚げ、油淋ソース、チャーシュー炒飯、杏仁豆腐(写真右)。

飲み放題です。



3 巣鴨地蔵通り商店街散策

15:00 頃に会食を終了し、希望者には散策をしていただき、流れ解散とします。

「泰平飯店」の道路を挟んでほぼ正面に「元祖 千成もなか 巣鴨店」(写真右)があります。有名なのは「ドラ焼きの皮パンケーキ」(写真下右の黒っぽいもの)ですが、お客が注文してから焼くのでかなり待たされます。6枚 200円です。胡椒や岩塩などを振り掛けて食べるのですが、たいして美味しくありません。それよりも塩大福をお勧めします。有名なのは「元祖 塩大福みずの」(写真下左)です。しかし客が列をなしており、15分以上待たないと買えません。花見会に参加される方は、JR駒込駅から六義園に向かう途中の支店で求められると、誰も並んでいませんから楽です。巣鴨商店街の塩大福の店はほかに伊勢屋とすがも園の2店があり、みずのと同じ1個130円です(この2店では試食していません)。千成もなかで求めた塩大福は110円でした。写真下右の白いもの二つの左側で、右側がみずのの塩大福です。重さを量りましたら、千成が80g、みずのが60gで、かなり千成がお得に見えます。包丁で切ってみると、千成の皮は非常に粘り気があって切りづらく、餡には小豆の粒が多く見られましたが、みずのの皮はやや硬くてスパッと切れ、小豆の粒は見られませんでした。味は好みだと思いますので、食べ比べをお勧めします。両方美味しいです。



赤パンツの店が何軒もあります。マルジが2店舗並んでおり(写真右)、右のメンズ館で、しっかりした山歩き用の毛糸の手袋を300円で求めました。ラッキー！

幸運を呼ぶ赤パンツを是非お買い求めになり、穿いて下さい。



中心になるのはやはり高岩寺(とげぬき地藏尊。写真右)で、洗い観音は長蛇の列でした(写真下左右)。



4 申し込み期限

3月27日(水)としますが、準備の都合上なるべく早く、メール(郵便の方は返信用葉書)にて、「花見会」「会食」「巣鴨商店街散策」別を含めて返信して下さい。

以上

幹事: 37同会関東支部幹事長 村川淳一